

登録コード	HS430900	開講年度	2026									
授業題目	農村計画学特論							担当教員	内川 義行			
英文授業名	Advanced Rural Planning							副担当				
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期			対象学生	博士_総合理工学専攻1～2年			
				授業形態	講義	備考						
信大コンピテンシー	該当											
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素							(授業の達成目標)				
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加											
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能							農村および計画に関する専門的な知識と思考を修得し、課題を認識できるとともに、客観的・論理的に考察して、表現することができる。				
(2)詳細 /Detailed information	人口減少時代の中で、中山間地域における土地利用の諸問題を整理し、持続可能な生活環境・生産環境の整備や維持管理の社会システムの構築を目指して、今後の適切な土地利用と管理のあり方、環境整備のあり方について論じる。											
(3)授業の概要 /Overview of course	1.計画の理念および農村計画の意義について概説する。 2.中山間地域における農地や緑地の重要性を理解する。 3.中山間地域の課題を整理して、その持続性を中心に論議する。 4.中山間地域の土地利用と管理の手法および整備計画を議論する。 5.中山間地域における生活環境の評価および計画を議論する。 6.中山間地域の集落を対象に具体的な生活環境・生産環境の調査を実施して、調査手法や評価手法についての技術を習得する。											
(4)授業計画 /Course plan	1.中山間地域における農村の現状 2.計画の理念と農村計画の意義 3.農村計画の理論と手法(1) 4.農村計画の理論と手法(2) 5.農村計画に関わる法と制度(1) 6.農村計画に関わる法と制度(2) 7.生産環境整備の計画論 8.生活環境整備の計画論 9.環境評価と整備計画の作成(1) 10.環境評価と整備計画の作成(2) 11.環境評価と整備計画の作成(3) 12.中山間地域を対象にした環境評価と整備計画の作成(1) 13.中山間地域を対象にした環境評価と整備計画の作成(2) 14.中山間地域を対象にした環境評価と整備計画の作成(3) 15.総合論議											
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	講義中に実施する演習形式での論議，小レポートにより評価する。合計点で60点以上～70点未満を可，70点以上～80点未満を良，80点以上～90点未満を優，90点以上を秀とする。											
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	小レポート等については，（ ）課題の背景・目的を説明でき，（ ）課題への接近方法を適切に把握・実施しており，（ ）結果について適正な処理とまとめができ，さらに（ ）自らの見解を考察に既述できている。以上の，（ ）から（ ）を満たしていれば「かなり上にある」。三項目までできていれば「やや上にある」。二項目までは「水準にある」とする。											
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	講義終了後は，e-ALPSに当日のパワーポイント資料を掲載するので,読み返し復習すること。											
(8)履修上の注意 /Notes	伝達事項について，各自メールを随時確認すること。											
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	オフィスアワー:授業後及び随時に対応します（メールにて連絡して下さい）。メールを利用した質問にも随時対応します。 メールアドレス：yuchi@shinshu-u.ac.jp											
(10)授業の形式 /Course format	討論を含む双方向形式を主とする。											
【教科書 /Textbook(s)】	授業で指示する。											
【参考書 /Reference work(s)】	その都度，参考となる関連論文等を指示する。											